

第 14 回 秋の病理学校 開催のご挨拶

長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学分野

教授 中島 正洋

略歴

1996 年 長崎大学大学院医学研究科修了

1996 年 米国 UCLA School of Medicine Cedars-Sinai
Research Institute 博士研究員

(内分泌学：Shlomo Melmed 教授)

1998 年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科助手（原研試料室）

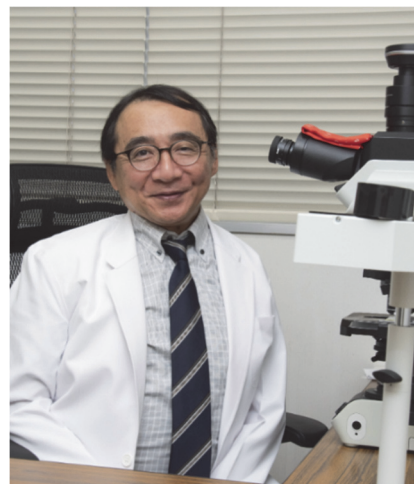
2001 年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科講師（原研試料室）

2007 年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授（原研試料室）

2010 年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授（原研病理）

2013 年 長崎大学原爆後障害医療研究所教授（原研病理）

※ 改組の為



皆様、本日は「第 14 回秋の病理学校」にご参加いただき、誠にありがとうございます。今年度は長崎大学が主幹を務め、長崎大学医学部キャンパスを本会場として、九州沖縄支部の各県サテライト会場を WEB で結ぶハイブリッド形式で開催いたします。

本会は「病理医の履歴書 ～これが私の生きる道～」をテーマに、病理学の多様な魅力と可能性を皆様に体感していただくべく、充実したプログラムを企画いたしました。

本日の特別講演では、三つの異なる視点からキャリアパスに迫ります。まず、顕微鏡とともに 60 年あまりのキャリアを歩まれた先生や、国際的なプロジェクトを牽引されてきたレジェンドクラスのシニア病理医の先生方から、形態から真実を読み解く病理学の奥深さと、その醍醐味をお話しいたします。また、カナダ・トロント大学での研究留学から帰国された気鋭の先生には、神経変性疾患の病理学的研究の魅力や、海外留学での貴重な体験談をご講演いただきます。さらに、外科医として地域医療に従事した後に長崎大学の病理の大学院へ入学し、臨床の疑問を製品化や大型研究費獲得へと展開させた先生から、臨床医の視点で気づいた「病理学が医師人生を豊かにする理由」についてお話しいたします。

その他にも、1 枚のスライドが患者様の運命を変える診断の連鎖を体験する CPC ストーリートークや、大学病院・市中病院・在宅といった若手病理医の多様な働き方を紹介するセッション、そして国試対策にもなる参加型の病理診断クイズなど、多彩な企画をご用意しております。

病理医の仕事は、決して顕微鏡を覗いて診断名をつけるだけにとどまりません。日常の診断業務から、臨床に直結する研究、世界と繋がる活動に至るまで、その広がりは無尽です。本日のプログラムを通して、参加される学生や研修医の皆様がご自身のキャリアを描くための新たな気づきや、一歩を踏み出すきっかけを得ていただければ幸いです。

皆様の将来の選択肢に、病理学というパスが少しでも魅力的に映ることを心より願っております。

タイムテーブル

時間	内容
13:00 ～ 13:05	開会挨拶 日本病理学会九州沖縄支部支部長 産業医科大学第1病理学 教授 久岡正典 先生
13:05 ～ 13:25	CPC ストーリートーク「1枚のスライドが患者の運命を変える」 長崎大学原爆後障害医療研究所 生体材料保存室 黒濱大和先生
13:25 ～ 13:55	「病理医って実際どう？—大学病院・市中病院勤務医、在宅病理医の日常」 長崎大学病院 病理診断科・病理部 松岡優毅 先生 協力： 長崎大学病院 病理診断科・病理部 荒木郁人 先生 国立病院機構 長崎医療センター 病理診断科 衛藤 悠 先生 国立病院機構 嬉野医療センター 病理診断科 大坪智恵子 先生 地域医療機能推進機構 諫早総合病院 佐藤俊輔 先生
13:55 ～ 14:05	休憩・CM
14:05 ～ 14:35	特別講演1「カナダ・トロント大学留学記—脳神経の病理学研究—」 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 統合脳神経科学分野 准教授 田中英智先生
14:40 ～ 15:10	病理診断クイズ「国試対策、病理医体験」 長崎大学病院 地域病理診断支援センター 望月一貴 先生 長崎大学病院 病理診断科・病理部 石飛俊介 先生 長崎大学病院 病理診断科・病理部 荒木郁人 先生
15:10 ～ 15:40	休憩・CM・病理診断動画
15:40 ～ 16:20	特別講演2 長崎のシニア病理医に聞くキャリアパス 「顕微鏡とともに 気が付けば60年あまり」 医療法人長崎病理 長崎病理診断科 副院長 河合紀生子 先生 「なぜ病理医を目指したか？」 国立病院機構 長崎医療センター病理（シニア病理医） 伊東正博 先生
16:25 ～ 16:55	特別講演3「外科医だから見えた病理の世界～臨床・研究・製品化を経て 気づいた、病理学が医師人生を豊かにする理由～」 長崎大学病院 地域医療支援センター教授 ながさき地域医療人材支援センター センター長 大坪竜太 先生
16:55 ～	閉会のことば 長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学分野 教授 中島正洋 先生

CPC ストーリートーク

「1 枚のスライドが患者の運命を変える」

長崎大学原爆後障害医療研究所 生体材料保存室 黒濱 大和 先生

病理医の仕事は、顕微鏡を見て診断名をつけることで終わるのでしょうか。

今回提示するのは、ある男性に生じた腫瘍の診断から始まったストーリーです。診断そのものは比較的すみやかに得られました。しかし、その病変を目にしたとき、病理医の頭の片隅に、昔読んだ教科書の記憶が蘇りました。

「確か、この腫瘍を見たときには……」

病理医は追加の検索を行い、その結果から考えられる可能性と次に行うべきことを、病理診断報告書に書き添えました。その「一言」を臨床医が受け止め、さらなる検査が行われます。そして、そこで見つかったものは――。

一枚の組織標本と、記憶の片隅に残っていた知識。それらが結びついたことから始まった診断の連鎖は、当初の小さな検体を越え、患者、さらにはその家族の未来にまでつながっていきます。

病理医は、ときに “Doctor’s doctor” と呼ばれます。病名を決めるだけでなく、病理から得られる情報を臨床医に伝え、次の診療につなげる。病理診断報告書のわずか一行が、患者の診療を大きく動かすことがあります。

本セッションでは、この症例を CPC を模したクイズ形式で提示します。

「あなたが病理医なら、どう診断するか？ 何を調べるか？ 臨床医に何を伝えるか？」
皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

教科書で学んだ一行が、何年も経って一人の患者を救うことがある。

たった 1 枚のスライドが、患者の運命を変えることがある。

Doctor’s doctor としての病理医の責任と面白さを、皆さんにも体験してもらえたらと思います。

「病理医って実際どう？」

—大学病院・市中病院勤務医、在宅病理医の日常—

長崎大学病院 病理診断科・病理部 松岡 優毅 先生

協力：長崎大学病院 病理診断科・病理部 荒木 郁人 先生

国立病院機構 長崎医療センター 病理診断科 衛藤 悠 先生

国立病院機構 嬉野医療センター 病理診断科 大坪 智恵子 先生

地域医療機能推進機構 諫早総合病院 佐藤 俊輔 先生

本日は秋の病理学校に参加いただき有難うございます。

学生・研修医の皆さんは、これからの進路や将来の働き方について、考えることも多いのではないかと思います。でも、病理医が普段どのような場所で、どんな業務をしているのかはあまり知らない人も多いのではないのでしょうか？実際、大学の授業・実習だけではなかなか想像がつかないと思います。

今回、いろんな立場・いろんな場所で働く若手病理の先生方に、日常をお話ししてもらいます。私自身は双子乳児と奮闘しつつ、在宅ワークも活用しながら日々診断業務を行っています。

“病理医”と一括りにされますが、今回の留学をはじめとした研究活動から、日常診断、学生教育まで幅広く、働き方には多様性があります。今回のセッションを通して、“自分のキャリア；My path”を見つけるきっかけになれば幸いです。

memo

特別講演 1

「カナダ・トロント大学留学記—脳神経の病理学研究—」

田中 英智 先生

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

統合脳神経科学分野 准教授

略歴

山形県出身。山形大学医学部卒業。新潟大学大学院修了

2020 年 新潟大学脳研究所病理学分野 特任助教

2022 年 4 月から 2026 年 3 月まで、カナダ・トロント大学
Kovacs 研究室に研究留学

2026 年 4 月より現職。神経変性疾患および加齢に伴う脳病理変化、
特にタウオパチーを中心とした病理学的研究に取り組んでいます。



病理学が扱う範囲は広く、全身の腫瘍性疾患から、実は脳の神経変性疾患まで、さまざまな疾患が含まれます。代表的な神経変性疾患には、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症などがあります。私はこうした神経変性疾患に興味を持ち、特に病気によって生じる変化を自分の目で直接観察したいという思いから、脳・神経の病理に携わってきました。そうした中で、2022 年 4 月から 2026 年 3 月までの約 4 年間、カナダのトロント大学に研究留学しました。研究面だけでなく、現地での生活を含め、私自身にとって非常に貴重な経験となりました。今回の発表では、写真やエピソードを交えた研究留学生活の紹介を中心に、神経変性疾患の診断や研究を通して感じてきた病理学の魅力についても、少しお話しできればと考えています。

病理診断クイズ 「国試対策、病理医体験」

長崎大学病院 地域病理診断支援センター 望月 一貴 先生

長崎大学病院 病理診断科・病理部 石飛 俊介 先生

長崎大学病院 病理診断科・病理部 荒木 郁人 先生

国家試験で問われるような基本的な病理から、日常の病理診断で遭遇するちょっと悩ましい症例まで、全3症例をクイズ形式で出題！

形態・臨床情報・免疫染色などのヒントをもとに診断に挑戦していただきます。

病理クイズの問題のバーチャルスライドをご用意しております。バーチャルスライドのリンクはメールにて別添いたします。

当日も提示いたしますが、ご興味あられる方は事前にお手元の電子機器にてご覧ください。

① 肺病変

70代男性。HTLV-1(+)。多発肺病変

②-1 腸管病変

40代女性。回盲部末端狭窄に対して腹腔鏡下回盲部切除実施

②-2 リンパ節

60代女性。腸間膜に1.5cmの腫瘤性病変を指摘され、生検となった。(バーチャルなし)

③-1 甲状腺結節

50代女性。健診で甲状腺結節を指摘され、精査加療目的に紹介受診。甲状腺全摘術を施行した。

③-2 腎腫瘍

70代女性。右腎腫瘍に対し、腎癌疑い(cT1aNOMO)としてロボット支援下腎部分切除術を施行した。既往歴に高血圧症、脂質異常症がある。

回答にはCommentScreenを使用し、会場の皆さんにリアルタイムで投票していただく双方向型の企画を予定しています。

「この病変、何だろう?」、「病理の先生ってどうやって診断しているのだろう?」とみんなで考えながら、病理診断の知識を深めてみませんか?

果たして、全問正解できる人はいるのか……!?

優秀正解者には景品も!?

ぜひ奮ってご参加ください!

特別講演 2

長崎のシニア病理医に聞くキャリアパス

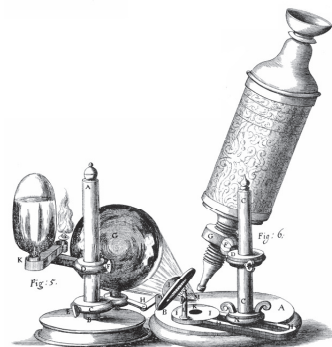
「顕微鏡とともに 気が付けば 60 年あまり」

河合 紀生子 先生

医療法人長崎病理 長崎病理診断科 副院長

略歴

1965 年 長崎大学医学部卒業
1965 年 長崎大学医学部附属病院医師実施修練
1966 年 長崎大学大学院医学研究科 病理学専攻
1970 年 長崎大学大学院医学研究科終了（医学博士取得）
1970 年 長崎大学医学部病理学教室 助手、講師、助教授
1995 年 長崎市立市民病院 病理科主任診療部長
1998 年 長崎市立市民病院 検査部長兼務
2005 年 長崎県総合保健センター 嘱託医師
(2006 年 長崎県健康事業団に改称)
2007 年 長崎県健康事業団 病理部長
2015 年 (医) 長崎病理 長崎病理診断科 副院長
(2026 年) 現在にいたる



秋の病理学校に参加されている皆さんはご自身のキャリア形成/キャリアパスについて深く考えたことがありますか？

一部のひとを除いてはおそらく、深く考えたひとは少ないと思います。

実は私もそのひとりで、今まで病理医として 60 数年間過ごしてきましたが、ほとんど深く考えたことがないのが事実です。

今回、この講演の依頼を受けてはじめて、自分のキャリアを振り返ってみました。

60 年というキャリアは他人が聞くと「ワアー 長すぎ！ 変わってるー」と思うかもしれませんが、本人にすれば、それほどでなく、「気が付けば」ということになります。

今日はこの「気が付けば 60 年あまり」の一病理医のキャリアのお話をしてみようと思います。

普通の一病理医のキャリアがこれからの進路に迷っているひと/病理に興味があるんだけど/病理医とはどんな仕事？働き方を知りたい/などと考えている皆さんが一步踏みだすきっかけにでもなればと思います。

また、病理医になってよかったことやライフイベント、これからの若い病理医に望むことなども併せてお話しできればと思います。

特別講演2

長崎のシニア病理医に聞くキャリアパス 「なぜ病理医を目指したか？」

伊東 正博 先生

国立病院機構 長崎医療センター病理（シニア病理医）

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 肝臓病学講座

臨床病理学 教授

福島県立医大 特任教授

略歴

1979年3月 長崎大学医学部卒業

1984年3月 米国イリノイ大学留学（1985年9月まで）

1985年12月 長崎大学大学院医学研究科修了

1988年7月 長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設助教授

2000年9月 国立長崎中央病院(現国立病院機構長崎医療センター) 臨床検査科長

2011年4月 NHO 長崎医療センター臨床研究センター機能形態研究部長

2024年4月 NHO 長崎医療センター病理診断科医師(シニア医師)



学生時代から病理学には興味があり、臨床に役立つ病理学を深く学びたいと考えていました。初期研修後は迷うことなく病理学教室に進学、大学院在籍中には目標の留学も経験させてもらい、帰国後は臨床に戻ることなく現在も病理医として仕事を続けています。

病理医の魅力は、毎日が「新しい発見の連続」であることです。症例に向き合い、形態から疾患の本質を読み解く。体力的な負担は比較的少なく、知識を深めれば深めるほど診断の精度が上がり、シニアになってからも成長を実感できる奥の深い領域です。

原研病理では原爆被爆者の疫学的な研究が継続され、放射線被曝研究のデータが蓄積されていました。国内外で放射線被曝や原発事故が起こった時、海外から多くの問い合わせがあったことを鮮明に覚えています。

私のキャリアを大きく変えたのはメンターとの出会い、国際的なプロジェクトへの参加でした。1986年のチェルノブイリ原発事故後の人道的医療支援として、1993～1995年にベラルーシ・ウクライナ・ロシアの拠点病院を巡回し、甲状腺の超音波検査や細胞診、教育活動を行いました。1998年からは現地支援に引き続き、希少な生体試料を後世に残す目的でチェルノブイリ組織バンクが立ち上げられ運営に携わりました。Rosai先生、LiVolsi先生など世界的な甲状腺病理の専門家、ウクライナ・ロシアの代表とともに、2023年まで数千例の症例をレビューしました。多くの事を学ぶ貴重な経験になりました。

病理医としての道は、静かで地味に見えるかもしれませんが、しかし、実際には「形態から真実を読み解く」知的な冒険であり、世界とつながる扉でもあります。皆さんがこれから進む医療の道の中で、病理学という選択肢が少しでも魅力的に映れば嬉しく思います。

特別講演3

「外科医だから見えた病理の世界～臨床・研究・製品化を経て気づいた、病理学が医師人生を豊かにする理由～」

大坪 竜太 先生

長崎大学病院 地域医療支援センター教授

ながさき地域医療人材支援センター センター長

長崎大学病院 乳腺・内分泌外科

略歴

2000 年 自治医科大学卒業、国立長崎中央病院

（現 国立病院機構長崎医療センター）

2002 年 上五島病院外科

2003 年 自治医科大附属さいたま医療センター外科

2004 年 上対馬病院外科

2006 年 対馬いづはら病院外科

2009 年 国立病院機構長崎医療センター

2010 年 長崎大学腫瘍外科 医員

2011 年 日本赤十字長崎原爆病院外科

2012 年 長崎大学腫瘍外科 医員、長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野

2014 年 医学博士号取得（早期修了）

2015 年 長崎大学腫瘍外科 助教（本部産学官連携）

2017 年 Department of surgery, Leiden University Medical Center, The Netherlands

2017 年 長崎大学腫瘍外科 助教

2020 年 長崎大学腫瘍外科 講師

2024 年 4 月 長崎大学腫瘍外科 准教授

2025 年 1 月 地域医療支援センター教授/ながさき地域医療人材支援センターセンター長



自治医科大学を卒業後、義務年限として長崎県の離島・地域医療に従事し、外科医として勤務する中で、日常診断における病理学の重要性を肌で感じるようになった。臨床の疑問が研究への興味へと発展し、長崎大学大学院（原爆後障害医療研究所病理学分野・中島正洋教授）へ入学。病理診断と研究に向き合う中で、臨床医としての思考の幅が大きく広がった。

大学院で取り組んだ semi-dry dot-blot (SDB) 法による乳癌リンパ節転移診断は、その後の大型研究費獲得と製品化につながるという貴重な経験を得た。さらに海外留学を経て、現在は長崎大学病院地域医療支援センター教授として、地域枠等学生・医師育成と地域医療支援に携わっている。

本講演では、離島勤務から始まった外科医としてのキャリアが、病理学との出会いを経て研究・製品化・教育へと展開していった道のりを振り返る。臨床医が病理学を学ぶことの意義、研究が臨床を豊かにするということ、そしてキャリアの「予期せぬ転換点」を糧にしてきた経験を、学生・研修医の皆さんへ率直にお伝えしたい。病理の道を志す皆さんにとって、臨床医の視点からの一つのメッセージとなれば幸いである。

memo

九州沖縄支部の各大学のご案内

- 大分大学（次回病理学校主催予定）
- 福岡大学
- 鹿児島大学
- 佐賀大学
- 熊本大学
- 久留米大学
- 琉球大学
- 産業医科大学
- 九州大学
- 宮崎大学
- 長崎大学

大分大学医学部 診断病理学講座



豊富な症例

年間 約37,000例
[院内] 約7,500例
[院外] 約29,000例

関連病院

大分県立病院
アルメイダ病院
南海病院 など多数

病理解剖実績

年間 約20例

研究等

年間 約10報

豊富な症例があり全身の疾患を満遍なく経験できます。
希少例は邦文、英文で論文報告を積極的行っています。

分大 病理



<http://www.med.oita-u.ac.jp/byori1/index.html>

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1丁目1番地

大分大学医学部診断病理学講座

☎ 097-586-5683 (医局)



国立大学法人

大分大学



福岡大学

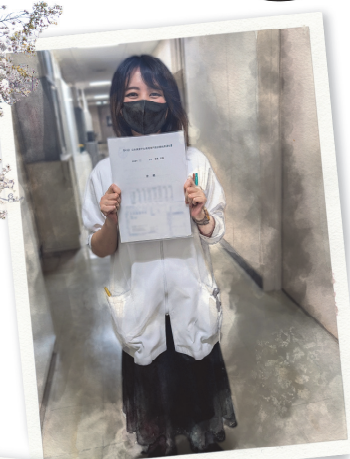
医学部病理学講座 病院病理部病理診断科



お気軽に見学に来て下さい
いつでも大歓迎です



現在スタッフ5名、専攻医3名です。



幅広く学べる

多彩な専門分野の病理専攻医が在籍しており、偏りなく幅広い分野を勉強できます。



自分のペースで成長

一人ひとりのペースに合わせて、着実にステップアップ。



時間の調整がしやすい

日常業務の多くは当番制で予定を調整しやすく、働きやすい環境です。子育て中の先生も多く在籍。



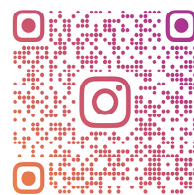
アクセス抜群

天神まで約16分・博多まで乗り換えなし約20分。

医局の日々の様子をSNS発信しています



ホームページはこちら



FUKUDAI_PATHOL

鹿児島大学 病理学分野

◆ 病理診断

◆ がんゲノム医療

◆ 基礎 / 臨床研究・ゲノム研究



組織診断実績
約 **9,000** 件 / 年

術中迅速診断実績
約 **1,500** 件 / 年

病理解剖実績
約 **30** 件 / 年

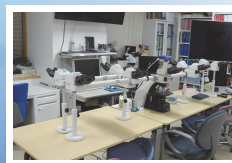
他科とのカンファレンス

がんゲノム外来 消化器外科 呼吸器内科・外科
脳神経外科 整形外科 皮膚科 血液内科 など

コンセンサス・ミーティング

※ 毎日病理医全員で！

診断の目合わせ & 知識の集結 &
みんなの症例から学べる！



教室ウェブサイト 見学・実習、ぜひ気軽にご相談ください。

<https://pathology-kagoshima.jp/>



〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 腫瘍学講座 病理学分野

☎ **099-275-5263** (医局) **099-275-5111** (病院代表)



佐賀大学医学部

Faculty of Medicine, Saga University

附属病院 病理部・病理診断科
病因病態科学講座
診断病理学分野
探索病理学分野



佐賀大学では、附属病院病理部と医学部病因病態科学講座（診断病理学分野と探索病理学分野）に所属の病理医が病理診断を担っています。

附属病院と医学部の施設は同一敷地内にあり、附属病院-研究棟-講義棟が渡り廊下を使って行き来可能な構造です。筆者は病院医員ですが、基本的には研究棟で診断業務を行っています。

当院のプログラムのセールスポイントとしては、
>>初めから、全臓器の生検/切除例の診断を担当

もちろん初めは一例一例を指導医が丁寧に指導してくださりますし、難症例は指導医が引き受けてくださいます。

>>担当以外の症例にもカンファで触れられる

他の先生の診断例も含め、多様な疾患の要点を日々学ぶことができます。また、大学病院ではありますが、特定の臓器や希少疾患のみに偏ることなく、いわゆる“common disease”を診断する機会も多いです。

>>能力に応じてステップアップ

初期は一言一句に至るまで指導を受けていましたが、次第に、診断の格子を指導医と確認（文章は自力で）→診断名のみ指導医と確認…といった具合にステップアップし、最終的にはほぼ一人で診断し、カンファレンスで最終チェックを受けるのみになります。このプロセスで成長が実感できるとともに、診断に対する責任も増し、気が引き締まります。

先輩方の声

（佐賀県医師・医学生キャリア支援サイトより抜粋）

ミフニリ、好きから病理医オススメです
（市中病院勤務 病理専門医）



今何科を目指しているにしても、
ぜひ、まずはどこかで病理を経験してみても
如何でしょう
（佐賀大OG、病理専門医、記載時育休中）



「研究はあまり…」ですが、
自分が経験した珍しい症例や診断に難渋した
症例などは学会発表や論文作成をします。
（市中病院勤務 病理専門医）



>>上記のコメント全文など、
詳細はQRコード or URL から！
佐賀県医師・医学生キャリア支援サイト
(<https://saga-doctor-s.jp/>)

→病理診断科紹介



→研修プログラム



佐賀大学の病理学校担当、病理部・病理診断科の西中佐知子（にしなか さちこ）です。もともとは消化器外科医でしたが、大学院で4年間病理を学び、病理診断科2年目になりました。病理学校は再開後初となる第11回（2023年・沖縄）の卒業生です。このときも佐賀大学はスイーツ企画を行っていた♡日々の業務に追われながらも、新しい知識にわくわくしながら、楽しく過ごしています。

佐賀大学病理の魅力は、幅広い症例を経験できることはもちろん、アットホームな雰囲気です。佐賀はコンパクトで暮らしやすく、佐賀牛や新鮮な海の幸、日本酒など食の魅力にも恵まれています。また、長崎から続くシュガーロードに育まれたスイーツ文化も楽しみの一つです。今回の病理学校が皆さんの進路を考えるきっかけの一つとなり、その選択肢の中に佐賀大学が加われば嬉しく思います。（西中）

熊本大学 病理専門医研修プログラム

熊本大学病院病理診断科あるいは熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学分野に所属し研修を行う

✓ 熊本大学病院病理診断科

組織診

約 11,000 件/年

細胞診

約 6,000 件/年

病理解剖

約 48 件/年（関連病院含む）

- ・ 毎日の症例検討カンファレンス、プレビューカンファレンス
- ・ 臨床科とのカンファレンス（婦人科、乳腺外科、脳外科、口腔外科、泌尿器科、呼吸器内科外科 など）

✓ 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学分野

- ・ マクロファージの分化、増殖ならびに活性化に関する細胞学的研究など
- ・ 病理医・臨床医含む多数の大学院生が所属

✓ 関連病院（専攻医の研修実績）

- ・ 熊本赤十字病院
- ・ 熊本医療センター
- ・ 京都大学医学部附属病院
- ・ がん研究会有明病院（東京）

” Teaching is a work of the heart ”

当プログラムを支える哲学です



随時見学可能です。お気軽にご連絡ください！

熊本大学病院 病理診断科
〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘1-1-1
TEL 096-373-7099

久留米大学



大学内に専門医が
13人在籍しています。
講座間の垣根は低く
共同で院内業務を
行っています。
臨床とも密な連携が
とりやすい環境です。



診断 環境

他大学・学部、
他科出身等、
在籍する医師の
経歴は様々です。
若手医師も多く
活気あふれる
自由な雰囲気です。



研究 教育

旧1,2病理の各講座で
肝胆膵、婦人科、血液、
脳腫瘍等の分野に
研究業績があります。
研究カンファランスを
毎週行っています。

豊富な症例や
関連病院があり、
多数の病理専門医を
輩出しています。
女性医師は産休育休を
取りながら研修を
継続可能です。



ホームページはこちら



旧1病理



旧2病理



病理部

旧第一病理 主任教授 秋葉 純
旧第二病理 主任教授 三好 寛明
病院病理部 准教授 草野 弘宣

スタッフ 16人
大学院生 6人 計22人
(2026.6現在)

皆様へのメッセージ

魅力的で、各研修医のニーズにあった研修プログラムを
心がけております。 病理医として成長していくための
環境は整っています。 知識のみならず技能や人間性にも
優れたバランス良き病理医を目指してください。

ご質問・ご要望など、お気軽にお問い合わせ下さい。

担当) 塩賀太郎

E-mail: shioga_tarou@kurume-u.ac.jp
TEL: 0942-31-7546

琉球大学病院 病理診断科



UNIVERSITY OF THE
RYUKYUS
HOSPITAL

沖縄県中部に位置する県内唯一の大学病院で、病床数600床、年間診断件数は組織診・細胞診が各7000件台です。現在、専門医7名、医員3名で診断業務を行なっています。

剖検：病理専門医取得のために必須となる剖検(病理解剖)は、大学・関連病院合わせて専攻医一人当たり年間10例のペースで執刀することが可能です。

給与：医員としての給与に加え、外勤(バイト)先として関連病院での切り出し・診断があり、関連病院での剖検には外勤としての報酬があります。専攻医1年目から病理関連業務のみでの経済的自立を支援しています。



<入局者の実績>

- ・入局者数
R7(1名), R6(3名), R5(1名)
- ・沖縄病理専門研修プログラム
修了者の専門医合格数
R7(1名), R5(2名)
- ・専攻医による発表実績
(スラコン・学会発表)
R7(4名), R6(2名)

部内検討会
(週2回)

<若手病理医からのメッセージ>

宮平 博史(昨年病理専門医取得)

私は熊本大学卒業後、那覇市内の市中病院で初期研修を経て琉球大学病院で病理専攻医となりました。途中数ヶ月の育児休暇を挟み、昨年6年目に専門医試験に合格しました。試験はどの科でも大変ですが、病理は比較的 Work-life (+ study) バランスが自分のペースに合わせて調整し易いと思います。マイペースな方、お待ちしております。

新城 沙彩(産休・育休明け)

昨年第2子を出産し、育休を経て、今年度より復帰しました。子供の体調不良で仕事を休む日もありますが、理解ある職場、自分で調整しやすい仕事内容のおかげで続けられています。育児と仕事の両立を考えると病理医は良い選択肢だと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

小橋川 早紀(がん研有明病院派遣中)

私は4月から連携施設のがん研有明病院で1年間研修中です。がん専門病院ならではの症例を経験し、著名な先生方からご指導いただけるなど、忙しくも楽しく充実した日々を過ごしています。沖縄病理専門研修プログラムは大学で幅広い症例を経験した上で、専門的な施設でも研修できる、かなりいいところだなと思います！

<専攻医のスケジュール(例)>

07:50～ 部内検討会(週2回、有志)
08:30～ 手術材料の切り出し
12:30～ 昼食
13:00～ 診断(生検・術材・細胞診) ※合間でCPCの準備など
～17:15 終業

ご興味のある方は、
病理診断科 砂川 智恵
sutom1248@gmail.com
までお気軽にご連絡下さい。



教室の特徴

- ・ 程良い距離感
- ・ 骨軟部(間葉系)腫瘍と腎・
膠原病の診断/研究に注力
- ・ 骨軟部腫瘍の豊富なコンサル
テーション標本等を検鏡可

間葉系腫瘍や膠原病は全身のどこに
でも病変を形成します。将来どの
臓器を専門にするとしても、大きな
武器になる知識が得られます。

産業医科大学医学部 第1病理学

教授 久岡 正典

スタッフ5名、大学院生 2名
(2名九州労災病院・1名産業医派遣中)



2023.8

急性期診療棟開院



広く快適な病理診断室

入局者、大学院生を随時募集し
ています！興味をお持ちの方は
どうぞお気軽にご連絡ください。

連絡先：

093-691-7425(直通)

担当) 津田 陽二郎 (助教)

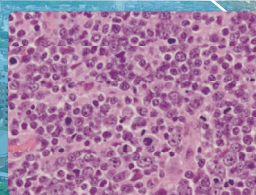
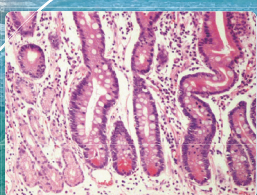
yojiro-t@med.uoeh-u.ac.jp

ホームページは
こちら→



産業医科大学医学部 第2病理学講座

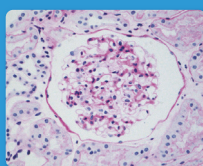
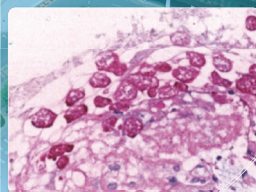
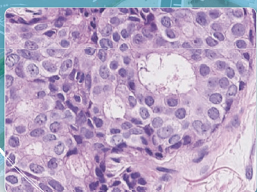
病理診断を通じて、学内および北九州圏内・近郊の病院において、
より良い医療に貢献しています。



明るく・楽しく・元氣よく、がモットーです。

全身臓器の診断を行っています。消化管と腎臓が得意分野です。

若手病理医の育成、病理専門医取得を積極的に支援しています。



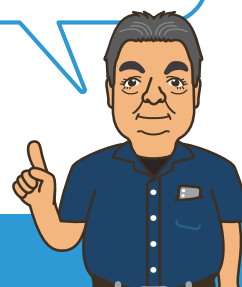
腎生検

腎生検は西日本各地の医療施設から依頼され、コンサルテーションを含め、
診断を行なっています。診断症例は、年間約600件を超えていて、日本有数の
診断レベルと規模です。

教室見学は随時受け入れています。お気軽にご連絡ください!



〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL: 093-691-7426 (直通) FAX: 093-603-8518 (直通)
E-mail: j-2byori@mbox.med.uoeh-u.ac.jp





九州大学病院 病理診断科・病理部

部長：小田 義直 教授（日本病理学会理事長）

病理専門医：9人，細胞診専門医：10人，

分子病理専門医：5人

研究グループ：骨軟部，小児，消化管，肝胆膵，
呼吸器，頭頸部，皮膚，乳腺，婦人科，泌尿器



@KYUSHU.UNIVERSITY.PATHOLOGY

←形態機能病理学 Instagram アカウント
形態機能病理学 X アカウント→



九大病理研修の強み

- ✓ 全国屈指の診断件数を有する
- ✓ がんゲノム医療中核拠点病院である（九州・沖縄で唯一）
 - ▶ Common diseaseからRare diseaseまで経験できる
- ✓ 多くの研究グループを有する
 - ▶ それぞれの専門分野を学ぶことができる
- ✓ 福岡を中心に多数の関連病院を有する
 - ▶ 多様な働き方ができる
- ✓ プログラム全体で多くの病理解剖件数(141件/年)を有する
 - ▶ 最短で病理専門医を取得できる
- ✓ 専攻医研修と並行して大学院での学位取得ができる
- ✓ 病理専門医試験合格実績：2名(25年度), 3名(24年度)



見学は随時募集しております

下記URLまたは右のQRコードよりお問い合わせください

見学応募フォーム

<https://www.surgpath.med.kyushu-u.ac.jp/inquiry/>





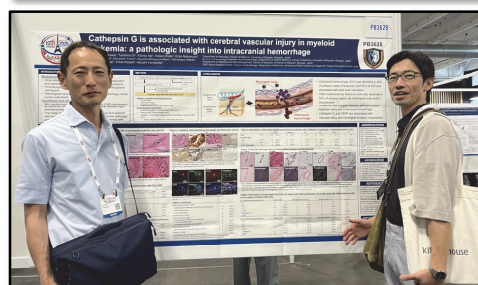
宮崎大学医学部

病理学講座 構造機能病態学分野

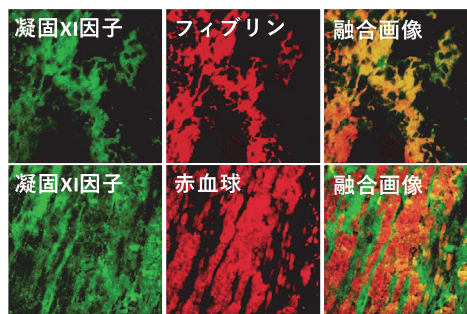


講 座 紹 介

- 私たちの講座には病院病理部を含めて6名の病理医が在籍し、病理学の診療、教育、研究を行っています。
- 診療は、病理診断・解剖を隣の腫瘍形態病態学分野の皆さんと隔週で分担しています。
- 大学病院であるため、一般的な疾患から、希少疾患まで幅広く横断的な診断経験を積むことができます。
- 専攻医教育にも力を入れ、日頃の診断に加え、九州沖縄支部の症例検討会（スライドカンファレンス）や国内外学会での発表、症例報告を指導しています。
- 近年では3人が病理専門医を取得しました。
- 研究では、循環器病理を得意とする日本でも数少ない講座です。日本人の死因の10%を占める心筋梗塞・脳梗塞の原因となる動脈硬化症や、静脈血栓塞栓症、周産期疾患などの研究を行っています。病理解剖においては急変症例の多くが循環器疾患を発症しており、とても重要な分野となっています。近年では腫瘍に合併する血栓・出血機序も研究対象としています。
- 病理診断・研究を、個人のワークライフバランスを考慮しながら働くことが可能です。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



国際学会での発表風景（ISTH 2026, Paris）



凝固XI因子は、新規抗凝固薬のターゲットとして注目されていますが、人体の静脈血栓で初めてその局在を明らかにしました。
Oguri N, et al. *Res Pract Thromb Haemost.* 2025;9:102720.

講 座 に つ い て

教授

山下 篤

連絡先

atsushi_yamashita@
med.miyazaki-u.ac.jp
Tel. 0985-85-2810

ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathophysiology/>



宮崎大学医学部 病理学講座

腫瘍形態病態学分野（旧・第2病理）



当教室では、がん周囲微小環境におけるプロテアーゼ活性の制御機構を中心に、培養細胞・マウスモデル・オルガノイドなどを用いた腫瘍の実験病理学的研究に取り組んできました。2024年には婦人科病理を専門とする佐藤勇一郎先生が教授に就任され、従来の研究テーマと融合した新たな教室の体制が整いつつあります。

あたらしい道を、ともに創る仲間を募集しています

- ・ 少人数ながらアットホームで、風通しの良い雰囲気のある教室です
- ・ 病理診断や剖検は、教授がマンツーマンで懇切丁寧に指導します
- ・ 3年間で病理専門医取得に必要な剖検症例数を十分に経験できます
- ・ 外勤や当直を組み合わせ、医師として十分な収入を確保しています
- ・ 子育て中の医師が多いため、ライフイベントへの理解が深い職場です
- ・ 実験病理学的ないし臨床病理学的研究での学位取得をサポートします



教室員の声

専攻医

学生時代はあまり病理に興味がなく、漠然とムズカシイものという印象でした。研修医の時にローテーションした際に、病理の魅力に引き込まれました。ただ組織所見を見つけるだけではなく、なぜそのような組織像になったのか、考えることは非常に面白いです。上級医とのディスカッションでは新たな解釈を学ぶことができ、成長が実感できます。噛めば噛むほど味が出てきます。

専門医

豊富な症例数と丁寧な指導で、病理専門医・分子病理専門医・細胞診専門医を最短で取得できました。当教室の男性医師としては初めて育児休暇を取得し、2人の子育てにも全力で取り組んでいます。昨年学位を取得し、現在はスウェーデンのルンド大学に留学して腫瘍免疫の研究に従事しています。一人ひとりが自分に合ったワークライフバランスを実現できる、柔軟な環境が整っています。

指導医

非常にゆっくりとしたペースでしたが、3人の子育てをしながら、専門医資格や学位を取得させていただき、現在も病理診断に勤めています。自分のペースで仕事ができ、家庭との両立がしやすい職場だからこそ今後も続けることができている。男女問わず仕事とプライベート、どちらも充実させたい方に病理医という選択は、オススメです。

興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせ下さい。yoshiko_umekita@med.miyazaki-u.ac.jp（梅北）

《長崎大学病理専門医プログラム》

プログラム概要：

- ☑ 専門医受験資格要件となる症例数の2倍以上の組織診断**10,000症例**および迅速診断**500症例**が1年間の症例数として経験可能。
- ☑ 県内全連携病院の症例を合算し、**年間30-40症例の解剖症例**あり。
- ☑ 大学は**全例バーチャルスライド**を採用(全国的に稀)。バーチャルスライドによる連携も進み、これらの連携施設間の症例共有やコンサルテーションが可能であるため、研修場所に関わらず広く疾患を修練できる環境が整備。
- ☑ 病理医不在の病院への出張診断(補助)、出張解剖(補助)、迅速診断などあり。

”推し”ポイント：

- ☑ 教授が優しくフレンドリー
- ☑ フレキシブルな人事(本人希望やペースを最優先！) NEW 在宅勤務も!?
- ☑ 専攻医1年目から病理診断・解剖を含む外勤あり！貧乏とは言わせない！
- ☑ 専攻医：2024年度2名、2025年度1名、2026年度2名 (直近7年で7名)

研究分野：甲状腺、放射線被曝者研究、呼吸器、乳腺、脳腫瘍、AI etc

関連病院：病理クリニックから3次病院まで多数

長崎で病理医ライフはじめちゃわない？

《教室紹介》

長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学分野(原研病理)のご紹介
 Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Atomic Bomb Disease Institute

放射線の人体影響の研究

Research on Human Effects of Radiation

初期原爆放射線
Initial A-bomb Radiation

残留放射線
Residual Radiation

被爆者
Atomic Bomb Survivors

長期健康影響
Long-term Health Effects

発がんリスク持続亢進の分子機構解明
Elucidating the Molecular Mechanisms of Sustained Carcinogenic Risk

腫瘍の分子病理学的解析

Molecular Pathological Analysis of Tumors

がん遺伝子
がん遺伝子
抑制遺伝子

エビジェネティクス 個別化医療への貢献

分子標的

病理疫学的調査研究

Pathological Epidemiological Studies

長崎県

被爆者
データベース

腫瘍登録

急性放射線腸障害や腸炎の基礎研究

Basic Research on Acute Radiation Intestinal Injury and Enteritis

腸管粘膜

正常

放射線粘膜

炎症・壊死

がん遺伝子

エビジェネティクス

分子標的

放射線腸障害モデル

治療法開発

治療法開発

人体病理学研究

Human Pathological Research

病理診断精度の向上 臨床への貢献

病理専門医育成

Training of Pathology Specialists

研修医・大学院生

病理専門医

症例検討

剖検

研究

学会発表

Recruit 情報

研修大学・大学院生
病理専門医定
<https://www.genkenki-u.ac.jp/>

原研病理スタッフは、病理診断科・病理部や地域病理診断支援センターにも在籍。他教室と連携し、研究・診断・教育を担っています。

(✉ y-matsuoka1082@nagasaki-u.ac.jp)

病理診断科・病理部/原研病理 松岡 優毅

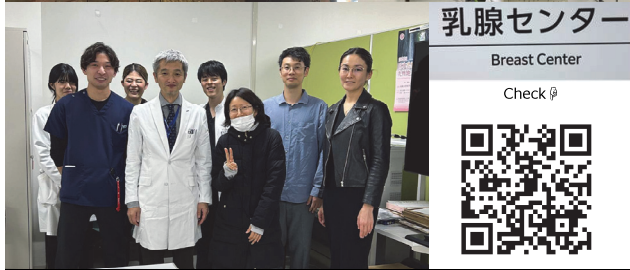
原研病理 HP
(中島 正洋 教授)

病理診断科病理部 HP

長崎大学
病理研修プログラム

長崎大学
見学申し込み

乳腺病理診断を中心に病理診断科・病理部の一員として様々な疾患の病理診断が可能です。乳腺臨床病理カンファランス（画像診断や診療）では病理医として直接臨床医とディスカッションもできます。大学院生も募集中です！
乳腺病理医の後継者も探しております！
（指導医：乳癌取扱い規約委員長・WHO/ICCR contributorなど）



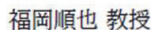
病理学は、形態解析と基礎医学の手法を用いて病気の原因や発症のメカニズムや病態を明らかにする基礎病理学と、患者さんの検体を病理組織学的に診断して診断・治療に役立てる臨床病理学から構成されています。



当講座では、病理専門医として身につけてはならない総合的な臨床力と病理診断力を指導するとともに、基礎病理学と臨床病理学の両輪を稼働させ、近未来の医療を見据えた医学を追究できる医師の育成を目指しています。

Pathology Informatics, Nagasaki University

教學をなすすれてます。驚くのは、顕微鏡がほとんどないことだ。デジタル化の最大の利点は遠隔診断にある。スタッフの石黒駿介氏は、亀田総合病院千歳や淡路臨海療養センター（兵庫、あるいは九州各地から集められた検査会社の診断を長崎の教室のデスクでこなしている。他院の病理医とのかつアライン、や、専門家の相談も容易にでき、安心して診断できる」と氏は言う。条件があえば在宅勤務も可



長崎の研究室に、世界6大陸から
教授は、毎日英語が飛び交っている。現在、教室には世界6大陸から留學生やエタツが集まっている。あやべんギンをつれてくれば、全大陸がそこごと福岡順也教授は笑う。多様な環境から生まれる視点の違いも、研究を進める大きな力となっている。

「ジニタルと融合し、長崎に
いながら世界と研究する。情
報病理学教室が取り組んで
いるのは「次の病理学」で
ある。

特集 長崎から変える、病理診断の未来

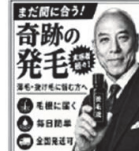
情報病理学

発行元
長崎大学
情報病理学
長崎市坂本 1-7-1
☎095-819-7055

最新の活動は
こちらから



— 廣告欄 —



統合脳神経科学分野



- Glioma metabolism
- Neuron-glioma network
- AI diagnostics



- Tauopathy
- α -synuclein propagation
- Human brain pathology



- Circadian biology
- Clock aging
- Neuroendocrine regulation

Join us!

学生・大学院生・
共同研究者を歓迎します！
Kenta Masui, MD, PhD
(Professor / Neuropathology)

Lab Website ▶



協賛いただいた医療機関・企業 順不同

大塔内科医院 様

株式会社エムディーシステム 様

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 様

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 様

社会医療法人 原三信病院 様

独立行政法人地域医療医療推進機構 諫早総合病院 様

独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター 様

福岡病理診断科クリニック 様

飯塚病院 様

医療法人長崎病理 長崎病理診断科 様

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 様

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 様

山下医科器械株式会社 様

株式会社ニコンソリューションズ 様

株式会社テクノ・スズタ 様

サクラファインテックジャパン株式会社 様

メドメイン株式会社 様

謝辞

第14回 日本病理学会九州沖縄支部 秋の病理学校2026の開催にあたり、多くの企業・団体・医療機関様よりご支援を賜りましたこと、ここに篤く御礼申し上げます。尚、個人協賛いただきました御芳名は省略させていただきました。

第14回 日本病理学会九州沖縄支部 秋の病理学校2026

世話人 中島正洋



福岡病理診断科クリニック

FUKUOKA PATHOLOGY CLINIC

すべての医療機関に病理診断科を。

病理医のシェアリングにより病理医不足の解消を目指します

business contents

業務内容



病理診断

組織診断・細胞診断
術中迅速組織診断
病理解剖・CPC
セカンドオピニオン



学術協力

臨床科カンファレンスへの参加
学会発表・研究指導
講義・講演等の協力



コンサルテーション

病理診断コンサルテーション
セカンドオピニオン
病理診断科クリニック開業等支援

contact



院長・医学博士 山田 裕一

〒815-0042

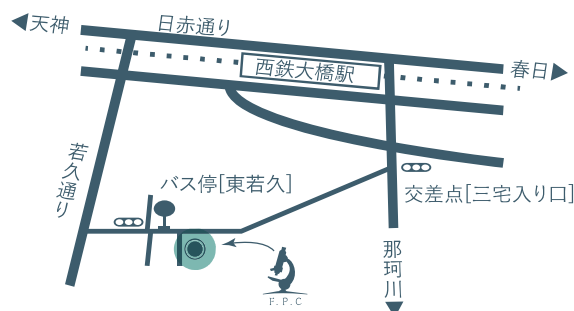
福岡市南区若久6丁目64-20

tel. 092-559-2835

fax. 092-559-2842

mail. fukuoka_pathology_clinic@outlook.jp

web. <https://fukuoka-pathology-clinic.com/>



JCHO 諫早総合病院



院長／西村 直樹

所在地／〒854-8501 長崎県諫早市永昌東町 24 番 1 号

電話／0957-22-1380 F A X／0957-22-1184

病床数：323 床（一般 315 床・感染 4 床・結核 4 床）

診療科目（28 科目）：内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科(緩和)、病理診断科、リハビリテーション科、腫瘍内科、脳神経外科、放射線治療科

医療法人福甲会

Yamashita Thyroid Hospital

やました甲状腺病院



甲状腺・副甲状腺疾患の診療を継続し、2026年7月に開院20周年を迎えました。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院

外科・内科・麻酔科／38床（アイソトープ治療病室2床）

理事長 山下 弘幸 院長 佐藤 伸也 副院長 進藤 久和

〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8 TEL: 092-281-1300 FAX: 092-281-1301

<https://www.kojosen.com/>



We Deliver The Best ～まごころ医療、まごころサービス、それが私達の目標です～

飯塚病院
innovate and evolve

院長: 本村 健太

副院長、病理科部長: 大石 善文



地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター

臨床研修指定病院
ISO9001認証取得

〒820-8505
福岡県飯塚市芳雄町3-83
TEL: 0948-22-3800(代)
<https://aih-net.com>

「地域医療に貢献する」



山下医科器械株式会社

佐世保本社 佐世保市湊町3-13 TEL 0956-25-2112

福岡本社 福岡市博多区下川端町2-1 博多座・西銀ビル10F
TEL 092-402-2950

支 社：佐世保、長崎、佐賀、福岡、北九州、筑後、熊本、
大分、鹿児島

営 業 所：長崎中央、島原、対馬、五島、唐津、武雄、福岡西、
筑豊、大牟田、八代、宮崎

連 絡 所：天草、中津、奄美

セ ン タ ー：鳥栖物流センター、長崎物流センター、
鳥栖SPDセンター、福岡SPDセンター

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT



済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL

〒861-4193

熊本市南区近見5丁目3番1号 電話 096-351-8000 (代表)



社会医療法人

原三信病院

HARASANSHIN HOSPITAL

〒 812-0033

福岡市博多区大博町1-8

☎ 092-291-3434 (代表)



生物顕微鏡の進化の実感

研究用顕微鏡

ECLIPSE **Ni** Series

従来の正立顕微鏡の枠を超えた基本性能の向上と、進化した階層構造によるシステムアップの自由度の拡大を実現した、生物顕微鏡の新しい頂点。生物科学・医学分野での研究の未来に新たな可能性を拓けます。



検査用顕微鏡

ECLIPSE **Ci** Series

“もっと楽な姿勢で観察したい”、“ワンタッチで操作したい”などなど、みなさまからの切実なご要望にお応えして進化した、Ciシリーズ。使い始めたその日から、今までにない快適さを実感していただけます。



株式会社 ニコン ソリューションズ

製品紹介サイト: www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP



医療法人 長崎病理
長崎病理診断科



独立行政法人国立病院機構

長崎川棚医療センター

院長 植木 俊仁

長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005番地1

電話：0956-82-3121 FAX：0956-83-3710

当院マスコット
「ヨーギー」です



・政策医療および急性期、慢性期、回復期、障がい者医療を担う『ケアミックス型』の病院です。
医師、看護師等、職員募集中！



すべては、
“がん診断の進展”のために

病理のトータルソリューションプロバイダーとして、
私たちサクラは、病理に関わるすべてのお客さまに
最適なソリューションを提供し続けます。

サクラファインテックジャパン株式会社
東京都中央区日本橋区 2-3-1 国際センタービル
www.sakura-fintek.com



continuous innovation for pathology



L872-2822A&R1.T